

## 「福祉って何?」 楽しい老後をイキイキ暮らすために

岩永 秀徳

### 1. 地域の「縁側、井戸端会議」がなくなった

☆長崎はボランティア・市民活動、企業の社会貢献の発祥の地  
「NHK龍馬伝」の幕末の舞台である「亀山社中」は、日本で初めての貿易商社。「会社」という言葉の起源は、国を良くしようという思いの強い人々が集まり、みんなのために活動する組織。つまり、ボランティア団体や市民活動団体と同じということになり、長崎は日本で初めて「会社」として組織され、公益(みんなのため)に動く、今で言う「企業の社会貢献」や「市民活動」の誕生の地でもあると言うことができます。

### ◆長崎でのシヨッキンゲな出来事

ここ長崎で、年間どのくらいの人が誰にも看取られないで亡くなり、後日発見された65歳以上の高齢者がどのくらいおられるかご存知でしょうか。3年前の県警本部の発表によると、約250人もいらつしやるんですね。また、長崎市の出来事で、なんと死後8年間経つても、ご近所の方々に知られることなく発見され、すでに白骨化していたという例もありました。原因は過度のプライバシー保護の影響なのか、「隣で何が起ころうと無関心」だったり、ご近所に遠慮して、高齢者宅での「老老介護」や「介孤」や、新米ママが誰にも相談できず、不安を抱えての子育てや「孤育て」など、地域の連帯が崩壊してきているからだと思います。以前のような人とのコミュニケーションの場である「縁側」や、庭先で行われていた「井戸端会議」が今、必要な時代なんですね。



観光さるくガイドで活躍するシニアボランティア

心」だったり、ご近所に遠慮して、高齢者宅での「老老介護」や「介孤」や、新米ママが誰にも相談できず、不安を抱えての子育てや「孤育て」など、地域の連帯が崩壊してきているからだと思います。以前のような人とのコミュニケーションの場である「縁側」や、庭先で行われていた「井戸端会議」が今、必要な時代なんですね。

### 2. 福祉って、ボランティアって何?

☆ふくくしとは: 普段の暮らしの幸せ  
ふくくして、ひとと言で言うこと「普段(ふ)の暮らし(く)の幸(し)せ」なんです。普段つまり

誰しも一生忘れません。大リーグの憧れのイチロー選手から実際に野球教室で指導を受け、そのとき「将来、絶対に僕はイチロー選手のようになる。」と心に決め、プロ野球選手になった少年。学生のように老人ホームへのボランティア体験がきっかけで、福祉の仕事に就いた人たちを何人も知っています。このように、「本物」との出会いや「体験」が、一人の人間の生き方さえも変えてしまうこともあるのです。

### 4. 私たち一人一人「生きる力」が試される時代へ

☆見方を変えると自分も元氣ぞして町も元氣に:

県北にある佐々町に「なすな園」という、知的にハンディがある十数人の方たちと長年、一緒に暮らしておられる近藤原理先生(元純心大学教授)がいらつしやいます。(現在は閉園)その近藤先生のお話の中から、一つの出来ごとを紹介します。当時、なすな園では、自給自足の生活で、毎日、農作業に励んでいました。でも、1人だけ、何もしないで、ジッと動かないA君がいました。仲間からのクレームに困った近藤先生があるとき、A君を少し離れた畑に連れて行き、「A君の仕事は、今日からここだよ。」と言われた場所は、麦の穂豊かな畑でした。例によつて、そこでも、ずつと立つたままのA君でした。でも、今度は、ちゃんと役割を果たしていました。コメをねらつて集まったスズメたちがA君が立つと、パツと散つて、一羽もいなくなつたのです。さて、あるとき、「先生、ちよつと来て。」と近所のおばさんが近藤先生の家に飛び込んできました。外に出ると「あそこ先生、見て!!」と指さす方向に、あのA君がいたのです。「どうしたのですか?」と聞くと、「先生、しつかりと見てください。」。ジッと見ると何か、A君の肩そして頭にも:なんとスズメがたくさんとまつて、それも、楽しみにチュンチュン鳴いているではないですか。その光景を見て、おばさんは「スズメにまでも馬鹿にされて、かわいそう。」と言つたそうです。でも、「それは、マイナスの見方。もう一つの見方をすると、スズメにも好かれるA君。安心して肩や頭にとまることができる人柄と見方が変わる」と先生は話されました。このように、ややもすると私たちが、一方的なマイナスの見方で、相手を決めつけてないでしょうか。

### ◆無為は、早く「呆けてしまふ」?

「無為(むい)」とは、何もやることなく、社会から無用の存在と感ずること。これは、辛いものです。目的やすることがない。生きる意欲もなくなつてしまいますし、こういう方は早く呆けちゃうらしいですよ。そうならない様に私も含め皆さんも、何かチョツとできるボランティアをやつて、いつま

普通って、何でしょう? だれでもが普通に幸せを求める権利があります。障がい者だって、フツツに地域で暮らしたい。当たり前のことです。でも、現実には、地域社会はバリアだらけで、車いすで外出するとなると、多くの人の手を借りなければなりません。このように弱い立場の人でも、フツツに暮らしていけることの幸せ、それが福祉なのです。福祉を辞書でひくと、「福」は「幸せ」「祉」も「幸せ」という意味で、同じ、幸せを表す二つの単語で作られています。

☆ボランティアって、自分のために動くこと? 放つておけない人たち?

### ◆ボランティアとは、「心の営み」

なぜ福祉とは「幸せ」が二つなのでしょう? つまり、福祉やボランティアというのは、「してもらう」側だけが幸せになるだけではなく、手を差し伸べる側も、幸せを感じる。つまり、「してあげている」と思っていたら、実は相手から、手のひら一杯の「生きるチカラ」や貴重な「経験、知恵」などをいただき、幸せな自分に気づくのです。今や、いたる所で、いろんなボランティア活動がくり広げられています。きっかけは、「なんとかしなくつちや。」という思い、気がついた体が動いていたという「心の営み」行動がボランティア活動なのです。

### 3. ボランティアは、自分を変える

#### ☆ボランティアの三段活用

ボランティアの三段活用は、「うん・うんうん・やろーね」です。ボランティアは「私発」と言われているように、第二段階の「うん」は、自分の「気づき」です。第二段階の「うんうん」は、「学び」です。その結果、真の理解が深まります。第三段階の「やろーね」では、自らの「行動」です。つまり、気づかないと「何も始まらない」、動かないと、「何も(現状は)変わらない」。ボランティアは、自分を変える営みでもあるのです。

☆本物との出会い・体験が自分を変える  
有名な絵画でも、書物や写真などを見るより、本物を見たときの感動は、

でも「イキイキ人生」をすごしていこうではありませんか。(長崎県社会福祉協議会勤務)

### 風信

○何はともあれ今月は、地震・津浪の御不幸にあわれた方々への御見舞と、其の復興に全力をあげて御協力することを申し上げねばならない。  
○先日、OSB大放送ラジオ部局の人より電話あり「長崎の三月の節句には何を食べますか」という事であった。戦前の長崎地方では四月三日を桃の節句として雛祭をしていたので、食材料も今とは違っていた。フツ餅に菱餅、お膳には田螺と葱の入った白味噌のあえ物にまぜずし、白酒に桃饅頭。お雛様見物に廻つてくる子供達を主にした御馳走は、重箱に詰め用意してあった。ライデン博物館にあるシーボルト画集の中にも其の模様が描かれている。

○シーボルトと言えば、文政十年五月六日(八二七)には娘のイネが誕生しているのの中で、翌十一年三月三日は娘の初節句の日である。多分この日は母のタキと共に出島の中で初節句のお祝いをしたのではなからうか。当時はまだ桃カステラはなかった。○三月二十一日に「春分の日」とあり、「どうしてこの日が休日になったのですか」と聞いてこられた。これは明治四十一年皇室祭祀令により宮中三殿のうち皇霊殿の祭日を春は三月二十一日、秋は秋分の日に皇霊皇神殿祭として実施する事に起因し、戦前は春季皇霊祭としてお休みでした。

○長崎県九條の会事務局長・井田先生より「今年も青少年を中心に『親子で郷土の文化遺産を目で見、足で覚める会』を実施しますので御加勢下さい。」との依頼があった。○早速、先年来御協力いただいている餅田当会理事を中心に、稲岡・陸門・松澤・北川・篠原・山口の各氏にお願いし実施する事とした。期日は例年の通り五月四日(休日)。コースは「孫文と梅屋庄吉の長崎関係遺跡」を回ることにした。集合場所、五月四日午前十時、十八銀行本店前(出発)。コース・西洋亭跡―新地―中国領事館跡―福建会館―鹿島屋跡―鳳鳴館跡―宝亭―東洋日出新聞社跡―鈴木天眼自宅跡―榎津小学校跡―梅屋庄吉出生地(自由参加・会費不要)

○参考資料『孫文と長崎』(長崎文献社刊・一、〇〇〇円)  
○本会では三月一日(火)初歩古文書を学ぶ会(月二回)、二日(水)長崎懇談会(毎週水曜午後)、七日(月)長崎学講座。以上・本会事務所を会場に、各講座を開始しました。御来会をお待ちしています。(自由参加・会費不要)

長崎歴史文化協会 研究室

TEL 八二二一―一五四〇  
十八銀行公会堂前出張所 二F

